



### 大倉ダム

美しいダブルアーチダムとして有名で、日本唯一の大倉ダム。時期によりSUPツアーも体験可能。

P.078



### 作並温泉

雄大な自然に抱かれた温泉地。正岡子規などの文化人にも愛された。

P.077

仙台・松島エリア

## 04 | 作並・定義

### 定義如来 西方寺 五重塔

恒久平和を祈念するシンボルとして建立された五重塔は、四季折々の美しさが楽しめる。

P.077







**露天風呂を満喫**

発見は奈良時代とも鎌倉時代とも伝えられる。肌にやさしい泉質と豊富な湯量から「美女づくりの湯」と呼ばれ、大型ホテルや和風旅館4軒が立ち並び。

☎ 165P参照  
☎ 022-395-2211 (作並温泉旅館組合)  
(写真協力:元湯鷹泉閣岩松旅館 ☎ 022-395-2211)

**湯のまち作並 観光交流館ラサント**

源泉かけ流しの足湯(冬期休)、作並や隣接する山形の地場産品をそろえた物販コーナー、地元工芸品の展示などを行っている。春から秋にかけては、毎月最終日曜にイベントを開催、人気となっている。

☎ 9~17時 ☎ 12月29日~1月3日、6、7、9、12、1、2月第3火・水曜休館、不定休有 P 41台  
☎ 165P参照 ☎ 022-391-4126



**アルペロ カフェ  
-L'Albero Café-**

「湯のまち作並 観光交流館ラサント」内にあるカフェで、上愛子にある人気レストラン「アルペロ」の2号店となる。ココナッツとトマトのスパイスチキンカレーや自家製デザートが好評。

☎ 11~16時(L.O.15時30分) ☎ 不定休  
P 41台 ☎ 165P参照 ☎ 022-395-3430



**門前町のにぎわい**

作並温泉から北東へ6km、「定義如来」の名で親しまれる極楽山西方寺。門前町が開けていて、さまざまな土産物店が立ち並び、参拝客でにぎわう。

★開門7~16時30分 P 1000台 ☎ 165P参照 ☎ 022-393-2011 (西方寺)

**五重塔**

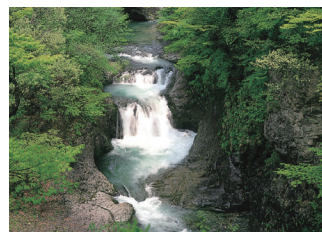
平貞能公への報恩感謝と供養、人類の恒久平和を祈るシンボルの塔として建立。3~11月の毎月7日は五重塔祭典日として御開帳され、阿弥陀如来像を拝むことができる。周囲の浄土庭園も美しい。



**大小の滝が連なる名所**

広瀬川上流にある大小さまざまな滝の総称。滝の流れが奏でる音を伝説の鳥、鳳凰の鳴き声になぞらえて名づけられた。新緑や紅葉の季節がおすすめ。

★見学自由 ☎ 165P参照  
☎ 070-1143-6633 (作並・定義地区観光案内所)  
(湯のまち作並 観光交流館ラサント内)



真の名湯は  
多くを語らない

**みやぎ随一 源泉100%掛け流し天然温泉**

お風呂は「河原の湯」「滝の湯」「鷹の湯」「新湯」「不二の湯」の5つの源泉があり、全て源泉掛け流しです。特に岩風呂は野趣あふれ、四季折々の景色が楽しめます。

天然岩風呂

岩松旅館

大浴場「不二の湯」(婦人)

天然岩風呂「河原の湯」

女性専用清流風呂「香華の湯」

ご予約TEL.022(395)2211 〒989-3431 仙台市青葉区作並字元木16 <https://ssl.iwamatu-ryokan.com/>



**ニッカウキスキー仙台工場 宮城峡蒸溜所** 作並 [MAP P.048] **歴史・文化**



仕込み・蒸溜から貯蔵までのウイスキー製造工程をガイドが案内してくれる。テイスティングセミナーや限定商品が充実。

☎ 見学受付は9~11時30分、12時30分~15時 ☎ 不定休 ☎ 165P参照 ☎ 022-395-2865

**湯神神社** 作並 [MAP P.048] **歴史・文化**

**作並温泉にある良縁の神社**

作並温泉の老舗旅館・岩松旅館の湯の神でもあり土地の守護神、商売繁盛の神として祈願されてきた湯神神社。最近では、縁結びの神様のパワースポットとしても注目を集めている。もともと作並温泉が「恋人の聖地」に認定されていることもあり、境内には「作並温泉恋のお湯かけ地蔵」が設置されている。

☎ 165P参照 ☎ 022-395-2211 (作並温泉旅館組合)



**恋のお湯かけ地蔵** 作並 **歴史・文化**

**縁起のいい立ち寄りスポット**

2013年に恋人の聖地に認定された作並温泉では、2014年から「恋のお湯かけ地蔵」がスタート。「お湯かけ小瓶」に入れた温泉を、地蔵にかけると恋が成就するのだとか。恋のお湯かけ地蔵は、温泉街7カ所。お湯かけ小瓶は全5種類。各旅館で販売している。



**仙山線鉄道施設群** 作並 [MAP P.048] **歴史・文化**



**歴史のある作並の立ち寄りスポット**

JR仙山線の鉄道施設群が2014年土木学会の「選奨土木遺産」に認定された。施設群には、作並駅の転車台や機関区をはじめ、熊ヶ根の第二広瀬川橋梁、奥新川直流変電所などが含まれる。仙山線は交流電化発祥の地でもあり、その歴史的価値や魅力を伝えるため、市民グループ「関山街道フォーラム協議会」では、作並温泉旅館組合等と協力して、見学会や湯のまち作並観光交流館ラサントでのパネル展示などを実施している。(写真提供: 関山街道フォーラム協議会 ☎ 090-7939-1855)

**日本で唯一の“ダブルアーチダム”大倉ダム** 定義 [MAP P.048] **歴史・文化**



大倉ふるさとセンターからすぐ近くにある大倉ダムは、1962年に日本で最初に完成した“ダブルアーチ式コンクリートダム”である。ダム本体は、中央にスラストブロック(巨大なコンクリート塊)を設置した2連のアーチ形状となっており、国内では非常に珍しいダム。春は桜、秋は紅葉が湖面に映り、美しい景観をつくる。

☎ 165P参照

**大倉ふるさとセンター** 定義 [MAP P.048] **自然**

**ダム湖のほとりでアウトドアを楽しむ**

大倉ダムの湖畔にある社会教育施設。上愛子から移設した江戸時代後期以降の民家が保存・公開されており、見学自由。キャンプエリアでは年間通してバーベキューや芋煮会ができ、自然の中でのんびりと過ごせる。そのほか、自然体験や農業体験等のイベントも開催。

☎ 開館時間は9~18時 ☎ 第3水曜休(11~3月は毎週水曜休)。施設、キャンプサイトの使用は前日16時までに要予約 ☎ 165P参照 ☎ 022-391-2060



**仙台市水道記念館** 定義 [MAP P.048] **歴史・文化**

**桜と紅葉の名所で歴史を学べる**

水道のしくみや歴史を楽しく学べる施設。周辺の水源では豊かな自然を満喫でき、玉石の上を美しく水が流れる青下ダムは見応え十分。来館者はダムカードがもらえる。

☎ 9時30分~16時 ☎ 月曜休(祝休日を除く)、祝休日の翌日休(土・日曜、祝休日を除く)、12~3月は休館 ☎ 無料 ☎ 165P参照 ☎ 022-393-2188



**大倉ダムSUPツアー** 定義 [MAP P.048] **レジャー・ショッピング**

**初心者歓迎! ダム湖で楽しめるレイクSUP**

秋保温泉から車で30分ほどにある「大倉ダム」の水面をSUPクルージングするツアー。波がない水面のSUPなので初心者でもOK。大自然を眺めながらゆっくり漕ぎ進む水上散歩でリフレッシュできる。

☎ 9時30分~約3時間/毎年5月~10月末頃まで開催 ☎ 7,000円(中学生以上)~ ☎ 165P参照 ☎ なないろアウトドア090-1937-3742



**定義カブトムシの森** 定義 [MAP P.048] **自然**

**気軽にカブトムシとふれあえる**

毎年夏にオープンする定義カブトムシの森は、自然に近い状態のカブトムシを公開している施設。観察小屋にはたくさんのカブトムシがいて、エサを与えたり、競争させたりと思いの遊び方ができるとあってファミリーに人気。

★7月下旬、10~16時 ☎ 200台 ☎ 165P参照 ☎ 090-8924-6667(大倉四季探検事務局)





ロケ地マップを片手に、映画の登場人物になりきって、スクリーンに登場したロケ地を巡り、仙台・宮城の魅力を感じよう!



## 仙台・宮城を舞台にした映画のロケ地を巡ろう♪

仙台・宮城には都市景観、昔懐かしい田園・里山風景、歴史的建造物など映像作品を引き立てる魅力的なロケーションが数多くあり、時代劇から現代ものまで、宮城県内を舞台に幅広いジャンルの映画が撮影されています。

近年は仙台、石巻、東松島で撮影を行った仙台市出身の岩井俊二監督の映画「キリエのうた」(出演:アイナ・ジ・エンド、松村北斗、黒木華、広瀬すず 他)や、復元船サン・ファン・パウティスタ号にて撮影を行った映画「レジェンド&バタフライ」(監督:大友啓史、出演:木村拓哉、綾瀬はるか 他)など話題作が続々と公開されました。今まさに宮城のロケ地が盛り上がっています!!ぜひ宮城のロケ地を巡り物語の世界を堪能してみたいかがでしょうか!この他、これまで仙台・宮城を舞台に映画化された作品のロケ地情報はせんだい・宮城フィルムコミッションのHPで紹介しています。



### 近年県内で撮影が行われた主な映画のロケ地

#### 「キリエのうた」

ロケ地 羽黒山鳥屋神社(石巻市)

夏彦(松村北斗)とキリエ(アイナ・ジ・エンド)が夜の神社を訪れるシーン。



#### 「レジェンド&バタフライ」

ロケ地 サン・ファン館(石巻市)

南蛮船に乗って航海に出るシーンは、解体前の復元船サン・ファン・パウティスタ号で撮影。



#### 「護られなかった者たちへ」

ロケ地 宮城野貨物駅歩道橋(仙台市)



笹篠(阿部寛)と蓮田(林遣都)が逃げる利根(佐藤健)を追い掛けるシーン。

#### 「天間荘の三姉妹」

ロケ地 仙台うみの杜水族館(仙台市)



たまえ(のん)が新人トレーナーとしてイルカショーのデビューをする水族館。観客役で多くのエキストラにご協力いただいた。



詳しくは

せんだい・宮城フィルムコミッションのHPへ  
<https://www.sendaimiyagi-fc.jp/>

